

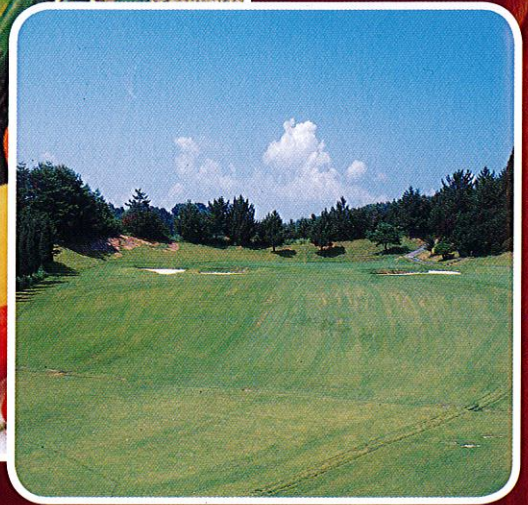
特許番号 第1378578号

クロレラ⁺光合成細菌混和による

腐植有機質肥料

土根生

〈根は土から生まれる〉



分析例 (乾物%)

窒素	リン酸	加里	石灰	苦土	リグニン	チャコール	フミン酸	有機物	腐植	炭素率	PH
2.5	4.0	2.0	5.0	1.0	37.0	37.0	9.0	88.5	88.0	16.0	7.5

20kg ポリ袋入り



サン化研株式会社

クロレラ ⊕ 光合成細菌混和による腐植有機質肥料

土根生

1. 製法

有機原料（豆粕類、ふすま粕、わたみ粕、みりん粕等）にチャコールと糖蜜を加えて60日エアレーションし、醗酵熟成させ（第1次、第2次醗酵完了）更に、第3次醗酵の仕上げに、クロレラと光合成細菌を混和し、完全な腐食有機質肥料「土根生」を製造します。

2. 特徴

- ① 「土根生」は、有機物88%、腐植生成量90%、炭素率16、塩基置換容量230me、水分30%の化学的条件を計算すると、堆肥の約7倍の力を有します。従って、例えば「土根生」を7袋(140kg)施用すると略1屯の堆肥を施肥した力をあらわします。
- ② 「土根生」は、クロレラと光合成細菌が混和されているため、有益菌の増殖による連作障害防止の効果(ゴルフ場に於いてはラージパッチ、春ハゲ、シズミ症等)や、作物の色つやを増し、品質を向上させる効果等を発揮します。

「土根生」化学、生物的内容

成分組成	N	2.49%
	P	4.01%
	K	2.10%
	Ca	4.98%
	Mg	1.01%
	有機物	85.41%
炭素率		16.0
有機合計		88.05%
含有腐植	リグニン	37.03%
	フミン酸	9.05%
光合成細菌数		10 ⁸ 個/g

於：小林環境科学研究所

除草剤散布芝地と「土根生」施用効果

	細菌数 (計測数/g)	放線菌 (計測数/g)	草の つや
除草剤使用後	7.5×10 ⁵	2.4×10 ⁴	
本発明の醗酵肥料 施肥後 1ヶ月	16.5×10 ⁶	1.8×10 ⁶	さわめて良好
従来法の醗酵肥料 施肥後 1ヶ月	12.0×10 ⁶	3.0×10 ⁵	普通

於：小林環境科学研究所

「土根生」施用による微生物相変化試験

	細菌数 (計測数/g)	放線菌 (計測数/g)	糸状菌 (計測数/g)	放線菌/糸状菌
本発明の醗酵肥料	18.2×10 ⁶	25.0×10 ⁵	14.2×10 ⁵	1.76
従来法の醗酵肥料	12.5×10 ⁶	18.6×10 ⁵	14.8×10 ⁵	1.25

於：小林環境科学研究所

- ③ 「土根生」は、腐植が88%と従来の醗酵肥料の2倍の高濃度を有しており、しかも炭素率16、PH 7.5 と安全に作物増収が約束出来る土壌改良剤です。

「土根生」施用によるトマト栽培肥効試験

	全果実数	全果実重(g)	平均果実重(g)
本発明の醗酵肥料	18	1228	68.2
従来法の醗酵肥料	14	875	62.5

於：小林環境科学研究所

◎ 標準施用量 (10a 当り)

水	稲	5～6袋
野	菜	10～20袋
果	樹	10～15袋
茶・花	卉	10～15袋
芝	生(1回施用)	50～100g/m ²

土質により適宜増減して下さい。